

グローバル通信8月号



外務省地方連携推進室



外務省地方連携推進室
運営ホームページ

[グローバル外交ネット](#)
をご覧ください!!



「Team Nigeria」ーホストタウンからスポーツ交流へー (千葉県木更津市とナイジェリア)



首都アブジャの空港でのナイジェリア選手団見送り



野球用具寄贈の様子

ナ イジェリアの選手団の受け入れに際し、東京2020大会では最新の設備のほか、日本食材を使ったナイジェリア料理など、まるで我が家のようにくつろげる環境を提供した木更津市。大会終了後も、同国とのスポーツ交流に賛同し、野球用具及びサッカー用具の寄贈を表明し、スポーツイベントを通じて、これらの用品が寄贈されました。時間を守る、物を大切にするなど日本人に共通する習慣も伝わっていくことで、国内経済の発展、ひいては、日本とのビジネス交流に発展するなど、ホストタウン交流から始まった関係が末永く続くことが期待されます。

【「Team Nigeria」ーホストタウンからスポーツ交流へー(千葉県木更津市とナイジェリア)】の詳細

スポーツがつなぐ交流の絆(鳥取県とジャマイカ)



2015年のジャマイカ選手団の事前キャンプ



布勢陸上競技場に掲げられた
「ONE LOVE From TOTTORI」

鳥 取県は2016年にジャマイカ・ウエストモアランド県と姉妹都市を提携しました。提携のきっかけは2007年の世界陸上大阪大会。それ以降、2つの地域では、陸上競技において公開練習やサイン会、青少年との交流が行われており、スポーツを通じた交流による絆を育んでいます。2024年は、日本とジャマイカの外交関係開設60周年。それに向けて、在ジャマイカ日本大使館としても、鳥取県とジャマイカの交流がますます発展するよう応援をしていく考えです。

【スポーツがつなぐ交流の絆(鳥取県とジャマイカ)】の詳細

リオデジャネイロ市と神戸市の姉妹都市関係



約100名の当地関係者による名誉市民称号伝達式出席



議会内大型モニターでの神戸市紹介動画放映の様子

リ オデジャネイロ市と神戸市の姉妹都市関係の歴史は1968年に遡ります。2019年には提携50周年を記念して様々な記念行事が行われました。本年6月1日にはリオデジャネイロ市議会から在リオデジャネイロ日本国総領事に対し、姉妹都市関係に関する条例の修正案及び名誉市民称号の伝達式が執り行われ、両市の絆を再認識する機会となりました。日本国外最大の日系人コミュニティを誇るブラジル。日本人移民及び日系人の皆様が100年以上にわたり築き上げてきた両国間の歴史的な繋がりにより、現在、多くのブラジル人が日本人に対し、「勤勉、誠実、実直」といったポジティブなイメージを持っています。在リオデジャネイロ日本国総領事館は、50年以上続くリオデジャネイロ市と神戸市の姉妹都市関係の更なる交流に期待し、これからも日本文化の魅力発信に努めていきます。

【リオデジャネイロ市と神戸市の姉妹都市関係】の詳細

(注)次回配信は9月1日の予定です。
グローバル通信に是非ご登録下さい。
登録は[メールマガジン「グローバル通信」](#)より「メールアドレスの登録」をクリック!
ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

外国人から見た地方活性化 vol.20
 ヌル ファラナス・アブ マンスル氏
 新居浜でゆっくりして行かんかい！



オンライン文化交流会でお筆を弾いている様子



地域の皆様と一緒に「ハリ Raya (断食明けの祝日)」を祝う様子

愛

媛県新居浜市では、2019年からマレーシア、シャー・アラム市出身のヌル ファラナス・アブ マンスルさんが、同市初の国際交流員 (CIR) として活躍しています。以前東京に留学していた際、コミュニティに馴染めず苦勞し、新居浜に来るときも不安を感じていたファラさん。しかし、その不安も、着任初日からまるで自分も地元で生まれ育ったかのように コテコテの新居浜弁で話しかけてもらうなど、地域の方々の温かさに触れたことで一気に晴れたと言います。その後、イベントやテレビ・ラジオなどを通じて、母国や新居浜の魅力を紹介してきたほか、コロナ禍においては、新居浜市とマレーシアの都市とのオンライン文化交流会にも携わり、活躍の場を広げてきました。ファラさんが最後に語るこのまちの一番の魅力とは何でしょうか。

[【外国人の目から見た地方活性化 vol.20 ヌルファラナス・アブマンスル氏 新居浜でゆっくりして行かんかい！】の詳細](#)

全国都市緑化フェア「くまもと花とみどりの博覧会 ～THE GREEN VISION 未来への伝言～」



ニコライ・バークマン氏監修大花壇



フランス発祥の球技 ペタンクを楽しむ来場者

熊

本市は2022年の全国都市緑化フェアの開催地でした。3月19日から5月22日までの間、熊本市内の3つのメイン会場は花とみどりで彩られました。熊本県のイメージキャラクター「くまモン」も、くまもと花博の特別衣装で開催をPR。デンマーク出身のニコライ・バークマン氏監修の熊本県産の花きを使用した大花壇、水前寺江津湖公園での清冽な水の体験や、姉妹都市の伝統的スポーツ体験等のイベントが来場者を魅了しました。開催後、たくさんの方々が花やみどりに触れた来場者からは「鬱々とした気分が晴れた」「開催してくれてありがとう」との温かいメッセージが聞かれた様子。熊本市はフェアを通じて高まった人々の関心を未来の花とみどりを核にしたまちづくりにつなげたい考えです。

[【全国都市緑化フェア「くまもと花とみどりの博覧会 ～THE GREEN VISION 未来への伝言～」の詳細](#)

アンテナショップ紹介vol.19

「果房 メロンとロマン」(青森県つがる市)



店舗内外観



メロンを贅沢に使った看板メニュー

果

房メロンとロマン。2019年に東京・神楽坂に誕生した、青森県つがる市のアンテナショップであり、「味わう・香る・見る・聴く・触る」の五感すべてでメロンを体験できる、日本初のメロン専門工房です。青森県はリングで有名ですが、つがる市では特産品のメロンをフックに市をPRしています。店舗では8月末まで、高いクオリティを誇るメロン産地だからこそ提供できる主力品のタカミをふんだんに使った爽やかな夏のスイーツを提供予定です。また、夏季限定販売として、つがる市産メロンの中でも糖度17度以上で形と網目がしっかりとしたプレミアムメロンを販売いたします。店舗の細部にもこだわりがあり、訪れた方には魅力的な仕掛けが待っています。つがる市が誇る希少性が高く高品質のメロンをぜひご賞味ください。



果房 メロンとロマン 公式ホームページにアクセス可能なQRコード

[【アンテナショップ紹介vol.19 「果房 メロンとロマン」\(青森県つがる市\)】の詳細](#)

出身者が開く国際交流の門戸 (鹿児島県宇検村)



ミセビチユス臨時代理大使(当時)へ質問をする児童と交流会を支援する重枝大使



村の魅力を英語で熱心に伝える地元中学生とオンラインで説明を聞くエジプトの生徒

2021年に世界自然遺産に登録された場所の一つ、奄美大島の南西部にある鹿児島県宇検村(うけんそん)。村の出身者である重枝元駐リトアニア日本国大使とミセビチユス元駐リトアニア臨時代理大使(2022年5月当時)との縁がきっかけとなり、本年5月に村を訪問した両者による国際交流授業が、村内小学校で実現しました。また、本年3月には村内中学校の教諭の縁で、同校とエジプトの中学生との間でオンライン交流も行いました。宇検村は今後も多くの国の人々と交流を重ね価値観を共有していくことで、全ての人にとって持続可能で豊かな社会形成に協調し共感できる人材への成長を目指していきます。

[【出身者が開く国際交流の門戸\(鹿児島県宇検村\)】の詳細](#)